

入学・進級おめでとう！

中央大学の同窓会である「学会」は、在校中から皆さんをサポートします

進路支援をバックアップします

中央大学では明治時代より、卒業生を「学員」(がくいん)と呼び、同窓会を「学会」として活動しています。中央大学で学ぶ後輩となる皆さんに向け、在学中よりキャリアセンターと連携してさまざまな行事を行い、進路支援をバックアップします。

週刊ダイヤモンドの50%OFF

3年次以上を対象に「週刊ダイヤモンド」を半年・1年講読の場合、市価の半額とするサービスを導入しました。

半年(25冊)約15,000円→8,000円(税込)

1年(50冊)約30,000円→15,000円(税込)

中途解約は、送本済み分を市価価格で精算。
申込みはフリーダイヤル 0120-700-853へ

機関紙「学員時報」を発行しています

学会の機関紙として、「学員時報」を奇数月に発行しています。学会関係の行事、学員の活躍を伝えるほか、大学の近況や学生スポーツを取り上げ、卒業後の皆さんと中央大学を結ぶメディアとして機能しています。2年次以上のご父母にもお送りしています。



学会ホームページ

<http://www2.tamacc.chuo-u.ac.jp/gakuinkai/>
*内容の一部は、会員専用ページとなっています。

2005年度後期(秋学期)に総合講座を初めて提供

学会は、卒業年次(同期会)、地域、業界・サークルなどで「支部」を結成しています。2005年3月現在で、卒業年次で48、地域で108、業界などで50の合わせて206支部が活動しています。

南甲倶楽部(なんこうくらぶ)は、実業界で活躍する学員で組織する学会支部で、学会を代表する支部のひとつです。南甲倶楽部では、今年度初めて全学共通科目として「総合講座」を開講します。

科目名：総合講座「働くこと入門」(仮)

対象年次：1～4年次生(主として1～2年次生の履修をお勧めします)

開講時限：後期(秋学期)の多摩キャンパス・水

曜4時限

開講目的：社会に出て働くとはどういうことなのかを学び、自分の将来や進路についてじっくり考えることで、大学生活の目標づくりに役立てられます。授業は、毎回各業界で活躍されている卒業生を中心に、業界全体の動向と展望、会社の特徴、仕事の内容、働くことの楽しさと厳しさなどについて、講師自身の自分史を織り込みながら、働く現場の状況を率直に語っていただきます。

履修登録：所属学部事務室にお尋ねください。

1	働くこととはどういうことか	商学部教授・コーディネータ	横倉 弘行
2	街づくりのために働く(街づくりから企業創生へ)ー創業のヒントはー	三和FP ビジョン(株)社長	中嶋 順敬
3	地場産業で働く(三多摩の歴史と産業の変遷)	小峰産業(株)社長	小峰 寛晶
4	IT企業で働く(新たなビジネスフィールドで事業創造)ー購買革命による新たな経済価値の発見と創造ー	デイコーブ(株)社長	後藤 誠二
5	建設会社で働く(ゼネコンの現状とその課題)	(株)奥村組社長	奥村太加典
6	スーパー業界で働く(コーポレートガバナンスとCSR)	(株)イトーヨーカ堂常務	稲岡 稔
7	劇場で働く(銀行界からオペラ界へ)	(財)新国立劇場運営財団支援業務室長	松本 将男
8	精密機器メーカーで働く(ものづくりとその理念)	(株)東京精密社長	鈴木 貞勝
9	100円ショップで働く(生きる)	(株)大創産業社長	矢野 博文
10	製薬会社で働く(医薬品産業の現状と将来)	持田製薬(株)常勤監査役	出口 純輔
11	出版社で働く(マスコミで働くということ)	(株)文藝春秋常務	白川 浩司
12	外食産業で働く(フードビジネスマン)	(株)デニーズジャパン会長	中山 吉史
13	まとめと学生による討論	商学部教授・コーディネータ	横倉 弘行